

総務建設農政常任委員会 視察研修

当委員会では、去る1月20日から21日にわたり佐賀県三養基郡みやき町において、視察研修してまいりました。

みやき町の先進事例については、令和元年12月に境町の若手農業者が研修を行っており、議会としても境町の特産品開発や農業後継者問題対策について、また町の活性化について研修が必要であると考え、総務建設農政常任委員会委員6名と議長の合計7名で調査いたしました。

みやき町では「健康長寿のまちづくり」の施策として完全無農薬国産バナナを生産しております。このバナナは「凍結解凍覚醒法」という特殊な手法を用いることにより、無農薬での生産が可能となり、子供からお年寄りまで安心して食べることができ、町民の健康づくりの推進に寄与しております。

また、疾病の予防や健康増進に寄与する医療を推進するため、西洋医学と東洋医学を兼ね備えた「統合医療」拠点整備事業として、(仮称)メディカルコミュニケーションみやきプロジェクトを立ち上げ、自分たちの生活習慣を見直す意識を持ち、一人ひとりが健康づく

りに取り組み健康を維持増進することが出来る環境整備を図っております。

農業後継者問題対策として、平成13年に「株式会社ジェイエイビバレッジ佐賀」を発足し、「安全で、安心できる高品質の製品」を生産することをモットーに取り組んでおります。さらに平成29年度には、事業多角化を目指し、イチゴの冷凍加工事業を立ち上げ、自ら原料を確保し生産するため、収穫作業が立ったまま定位置でできる最新鋭の回転式イチゴ移動栽培装置を導入し、農業者の労働力負担軽減に取り組んでおります。今後は当該施設を利用して新規就農者の研修を行うことも考えているとのことです。

みやき町では、令和2年1月に女子サッカーを町づくりの中心に据え、「女子サッカーのまち」を宣言し、自治体のスポーツ政策を支援する企業「リタジャパン」と連携協定を締結しました。3月末までに「みやきスポーツコミッション」を設立し、15歳以下の女子クラブチームの運営、大会等の開催により町の活性化を図ろうとしています。4月からは全国初の「女子サッカー推進室」を設置し、2011年サッカー女子ワールドカップで日本代表ゴールキーパーとして優勝に貢献し

た「海堀あゆみ」さんが、スポーツ政策ディレクターに就任する予定となっております。全国からサッカー好きの女子中学生を募集し、将来的には国体やプロ選手として活躍できる選手の育成を目指し、サッカー人口を増やすとともに、選手が引退した後も生活が成り立つよう、選手自身が直接セールスするなど、自分たちで稼げるような仕組みを研究しており、選手が将来は農業に携わるなど、様々な分野で活躍してもらいたいとしています。以上のような官民連携による各種の施策は、みやき町長の発想により、トップダウンで取り組まれていることに驚かされました。

当委員会では更に魅力ある境町となるため、今後も調査研究を進めてまいりたいと考えております。



みやき町 先進農業施策及び町の活性化についての視察